

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	10 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・ 個票、ケアプラン、24シートをしっかりと読み込み、ケアを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 一部の職員が個票、ケアプラン、24シートを読み込み、ケアを行うことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	8	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	9	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	10	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	8	3	0	12

できている点	・ 訪問サービスに伺う前に支援内容をきちんと確認するよう心がけている ・ ご利用者の困っていることに耳を傾け改善できるようケアマネージャーと連携している ・ 統一したケアを行おうとする姿勢がありケア検討会で話し合っている ・ 申し送り事項や訪問内容は確認しながら忘れないようにメモを取っている ・ 言葉かけを丁寧に行っている ・ 申し送りを読み、わからないところは職員間で共有している
--------	---

できていない点	・ 職員全員が個票やケアプランを読み込んでいないため統一したケアができていない ・ 担当介護職員と家族の関係性の構築 ・ まちがえないように気を張りすぎて抜けてしまう ・ 細かなケア内容が24シートに記載されていない ・ 家族、介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮 ・ 記録にしっかりと落とししていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 訪問内容と訪問の順番を確認する ・ 情報を共有するために申し送りや記録を徹底する ・ 担当職員がご利用者本人、ご家族とより良い関係性を築くために、担当者会議や初回利用などケアマネージャーに同行する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	9 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画	活動や職員からのアプローチに対して、どのような反応があったのかを細かに記録する。
前回の改善計画に対する取組み結果	細かな記録と職員周知ができず一部、「～したい」の実現に取り組めなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	6	5	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	5	6	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	5	5	0	12

できている点	- よりよい現場、介護になるように話し合い実現につなげている - ご本人や家族の意向を聞き取り、計画書に反映させている - 改善点について多職種にも投げかけ意見をいただいている 「～したい」の希望に応えるようにしている - 気づいたことは記録や申し送りにて情報を共有している
--------	---

できていない点	1 人ひとりのニーズの把握ができていない - ケアプランの目標を理解していない - 情報共有が不足している - 申し送りや記録の落としがある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- 利用者ご本人とコミュニケーションを図り意向を確認し職員間で共有する - 送迎時やフロアでの会話など利用者ご本人の言葉で記録する - 統一したケアでないことが原因でおこるヒヤリハットに対し検討モニタリングを行い改善する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
3. 日常生活の支援	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	8 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画	- 認知症ケアの研修会の実施（年に数回） - 日々変化する情報や身体状況を個票に書き込み活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 認知症ケアの研修を行った。 - 日々の変化や情報、身体状況を個票に書き込んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	2	6	4	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	5	7	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	8	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	9	2	0	12

できている点	- 訴えを傾聴し、ご利用者の希望に添えるようにしている - 新型コロナウイルス感染症も含め、いつも以上に状態の変化を注意深く観察した - 個々の生活背景はもちろんのこと、状況、体調に合わせた支援を行った
--------	---

できていない点	- 一人ひとりの生活歴や生活パターンや生活スタイルの把握 - 個々に合った入浴スタイルの支援 - 変化した情報を 24 シートに落とし込むこと - 記録物の読みこみ・日誌などの整理
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- ご利用者との関わりを増やし情報を得る - 新しい情報を 24 シートに記録する - 職員間のコミュニケーションを図り、ご利用者の体調の変化に即時に対応する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
4. 地域での暮らしの支援	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画	週 1 回、ケア会議を行い登録者のケア内容を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	週 1 回ヒヤリハットのモニタリングでケア内容を統一し確認した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	6	6	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	7	4	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	6	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	5	4	3	12

できている点	定期的に（週 1 回）ヒヤリハットのモニタリングを行い、疑問や困りごとを話し合い共有している。 地域における社会資源の把握（ももたろう移動販売車の利用や地域消防団の防災訓練参加） 家族と本人の関係性を考慮したうえでのケアプランの作成 自宅での暮らし、生活の様子を尋ねるようにしている 送迎や訪問時にご家庭の環境を観察し、その方の生活環境を理解することに努めている
--------	--

できていない点	一部の職員がケア内容の変更を確認していない 地域における人間関係や交友関係の把握 ケア会議に参加していない職員への周知 地域資源の把握 アセスメント不足
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- ももたろうの移動販売や、防災訓練での地域消防団の参加などの地域資源の活用や交流の継続 - 生活環境の背景を知り、地域活動や交流、資源の活用を取り入れた支援を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年 8 月 21 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	6 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・申し送りを読んでから業務に入る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・申し送りを読み確認してから業務に入った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	6	4	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	9	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	6	3	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	9	0	0	12

できている点	必ず申し送りを読んでから業務に入った 本人の状態や（天候・災害）状況に応じたサービスの提供 ニーズや意向に沿ったサービスの提供 「報連相」を心がけ、追加や変更の対応をした 個別支援に地域資源を組み込むことができた（移動販売） 訪問時の出来事を帰宅時に共有している
--------	--

できていない点	記録物を確認 認知症の方のその時の困りごとに対する言葉かけや対応 記録物ファイリングの整理 チームケア
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・必ず申し送りを読んでから業務に入り、「報連相」を職員一人一人が心掛ける ・認知症ケアの研修を施設内研修で行い参加する ・職員同士言い合える関係性をつくりチームで対応していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
6. 連携・協働	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	7 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・感染症対策を行い、新しい生活様式の中で地域活動や交流を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・感染症対策継続。その中でも地域活動ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	4	1	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	2	7	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	3	2	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	4	8	12

できている点	新型コロナウイルスを持ち込まない、持ち出さない対策を実施している 小学校やこども園とリモート交流を行っている コロナ禍ではあるが他サービス機関との会議や連携がとられている 地域の清掃活動を行った（バス停・こども園） 過去の入居者家族が野菜を持ってきてくれる 事業所の広報誌「だんだんどうも」を年4回発行し回覧板で地域に発信している 法人ホームページに月1で投稿し活動の様子をお知らせしている オレンジカフェを実施した
--------	--

できていない点	ふれあい参加型の交流活動は感染症予防の観点から実施していない
---------	--------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・新型コロナウイルスを持ち込まない、持ち出さないを徹底する ・うえのこども園とのリモート交流やバス停の掃除、地域清掃活動を継続する ・事業所広報誌発刊の継続	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
7. 運営	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	6 人	3 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・在宅サービスケアの研修会を開催する。 ・他施設の活動をホームページなどで学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・広報委員はホームページを見ているが、全職員には浸透していない。 ・在宅サービスケア研修は 8 月に 2 回予定されていて全職員参加する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	6	3	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	8	2	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	5	4	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	4	6	1	11

できている点	他法人のホームページを見て情報収集をしている ご利用者やご家族から要望に沿えるよう心掛けている 在宅サービスケアの研修会を行っている 意見や指摘について、すぐに対応している 総合防災訓練に地域の方が参加した
--------	---

できていない点	参考とする他施設の情報収集 地域と共同した取り組み 小規模多機能居宅サービス事業特性の勉強不足
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ホームページ用の写真を行事だけでなく、日常の様子を発信する ・送迎時などご家族と直接お会いできるときには積極的に話し情報を得る ・職員同士がフォローし合い、より良い職場作りに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
8. 質を向上するための取り組み	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	11 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・業務時間内に研修会を開催する。 ・録画や zoom を活用した研修会を行う。 ・ヒヤリハットの原因対策を当事者の考えと客観的な分析に分け、考える力をつける。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・業務時間内の研修の開催や、録画や zoom を活用した研修ができた。 ・ヒヤリハット の、客観的分析や考える力が乏しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	10	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	6	5	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	4	6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	4	0	12

できている点	調整を行い、業務時間内に研修を行っている リモートやオンラインで研修会を行っている ヒヤリハットの検討では積極的に発言ができた
--------	--

できていない点	ヒヤリハットの分析対策を講じても同様のヒヤリハットが出る リスクマネジメントと本人への配慮（プライバシーの尊重）矛盾が生じる 研修等で学んだことを現場で活かしていない ヒヤリハットの分析や対策の情報を把握していない職員がいる
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・リスクマネジメント研修後に職場でもう一度再確認する ・ヒヤリハットの対策を職員同士が言葉に出し確認しあう ・研修は業務時間内に行い、電子機器を利用し参加率をあげる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021 年	8 月	21 日
9. 人権・プライバシー	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	7 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・申し送りはご利用者の見えないところで行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員配置上の理由からフロアを見守りしながらの申し送りになったが小声でプライバシーに配慮して行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8	4	0	0	12
②	虐待は行われていない	8	4	0	0	12
③	プライバシーが守られている	3	6	3	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	1	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	9	2	0	12

できている点	身体拘束を行っていない（身体的な抑制、フィジカルロック、ドラックロック） 相手を尊重し目上の人を意識し敬語を使用している。
--------	--

できていない点	ご利用者の見守りをしながらの申し送り 言葉による抑制や拘束が時々ある 認知症のかたの訴えに丁寧に答える 成年後見制度の知識・勉強
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・言葉による制御や拘束が時々聞かれる。「ちょっとまって」ではなく理由を話してから伝える ・業務を整理し、ご利用者の訴えに丁寧に対応する	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 十日町福祉会	代表者	村山 薫	法人・ 事業所 の特徴	事業所の立地を生かし、住み慣れた地域で生活や暮らしが継続できるように支援を行います。
事業所名	小規模多機能ホーム うえの	管理者	飯塚 敦子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	2 人	1 人	1 人	2 人	1 人	0 人	2 人	0 人	9 人

項 目	今年度の改善計画	今年度の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画・次年度の取組み
A. 事業所自己評価の 確認	・コロナ禍で新たにに取り組む活動 も含め、新しい生活様式のサービ ス内容と地域交流等を具体的に 報告します。	・活動や地域交流を具体的に報告 しました。 ・自己評価結果で地域密着型サー ビスを理解していない職員が多 くいることがわかった。	・自己評価や事業所評価で人事異 動やコロナ禍で「ほとんどできて いない」にチェックしていたが、 それは職員の正直な意見であり 評価できる。	「改善計画に取り組む。地域活動 や地域資源を理解する」 地域密着型サービスの理解を図 ります。
B. 事業所の しつらえ・環境	・ソーシャルディスタンスを取り 入れながら、安心して過ごせる居 場所づくりを継続していきます。	・自宅の環境に合わせ、畳スペー スの拡大をしました。	・コロナ禍で施設内に入ることが できないためよくわからない。	「快適な環境を整えます（室温・ 湿度・居室環境・接遇）」 職員のマナー向上のため接遇の 勉強会を行います。
C. 事業所と地域の かかわり	・オレンジカフェを定例の行事と 位置付けるかどうか前向きに検 討します。 ・新しい様式で地域との関わりの 持ち方を探りながら積極的に交 流していきます。	・オレンジカフェ開催は見合わせ ました。 ・集落内事業所として位置づけら れ回覧板を通じて情報交換をし ました。 ・地域の文化祭に参加しました。	・こども園やバス停の清掃活動は 地域の方に評価されています。継 続してください。 ・集落内事業所として位置づけを 地域の方に周知するのは大変で すが効果があると思います。	「地域の方たちに集落内事業と して認知してもらえるような活 動を行う」 オレンジカフェや元気会（豆会） の開催実施に取り組みます。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・地域の清掃活動を継続していき ます。 ・事業所からの発信を地域の方に 知っていただけるよう回覧板を 利用した広報を行います。	・川西特別支援学校前のバス停清 掃と、うえのこども園屋外清掃 ・回覧板で広報誌を発信（年4回）	・コロナ禍で、できる範囲で取り 組みを行っていると思います。	「ご利用者の地域の情報（社会資 源）を把握しニーズに応える」 地域包括支援センター、民生委 員、保健師と情報交換共有を行 います。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・会議にいただいた情報をご利 用者の生活や暮らしに活かす活 動につなげます。 ・今後も検討の場としていきま す。	・新型コロナウイルス対策のため 書面開催が続いており、一報通行 の報告からの脱却として助言評 価等、情報の返信を依頼しご意見 を伺いました。	・書面開催が続いている。顔を合 わせた会議ができていません が助言評価、情報の返信を行っ ている。	「会議でいただいた情報をご利 用者の生活や暮らしに活かす活 動につなげます」 書面開催で一方通行の報告書に ならないよう助言評価等の情報 の返信を依頼します。

F. 事業所の 防災・災害対策	・冬季を設定した火災想定避難訓練を実施します。 ・避難経路やスロープ等の必要物品を再確認します。	・今年度より地域住民様の訓練の参加を依頼し、上野地区消防団様と運営推進委員の皆様から参加いただきました。新型コロナ対策中であるため見学を中心とした内容でした。 ・降雪時の避難経路確保のため工事を行いました。 ・グループホーム入居者の居室・3室に落とし板を設置するための工事を行いました。	・夜間想定避難訓練に参加しました。ヘルメット取り付けのヘッドライトが必要と感じました。 ・災害はいつ発生するかわからないので夜間想定訓練の実施はよかったと思います。これから冬期降雪、積雪時の避難経路が大切だと思います。	「火災だけでなく地震や水害、豪雪を想定した防災訓練を実施します」 地域住民参加型の訓練を実施します。 隣設する、あじさいなでしこグループホームと合同で訓練を実施します。 ヘルメットや懐中電灯などの備品を整備します。
----------------------------	--	---	---	---

